

議会改革特別委員会

令和 7 年 6 月 1 9 日

葛 城 市 議 会

議 会 改 革 特 別 委 員 会

1. 開会及び閉会 令和7年6月19日（木） 午後3時00分 開会
午後4時14分 閉会

2. 場 所 葛城市役所 新庄庁舎 第1委員会室

- | | | |
|-----------|------|------|
| 3. 出席した委員 | 委員長 | 西川善浩 |
| | 副委員長 | 柴田三乃 |
| | 委員 | 坂本剛司 |
| | 〃 | 杉本訓規 |
| | 〃 | 吉村始 |
| | 〃 | 松林謙司 |
| | 〃 | 谷原一安 |
| | 〃 | 川村優子 |
| | 〃 | 西井覚 |
| | 〃 | 藤井本浩 |

- 欠席した委員 な し

- | | | |
|--------------|-----|---------|
| 4. 委員以外の出席議員 | 議 長 | 奥 本 佳 史 |
| | 議 員 | 増 田 順 弘 |

5. 職務のため出席した者の職氏名

- 事務局長 米 田 匡 勝
書 記 神 橋 秀 幸
” 岩 永 睦 治

- ## 6. 調査案件

- (1) 市民懇談会について
- (2) 議会改革関係資料の配布について

開 会 午後3時00分

西川委員長 ただいまの出席委員は10名で、定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

皆さん、お疲れさまでございます。朝からは、総務建設委員会のほうしっかり議論させていただきまして、ありがとうございます。委員長、お疲れさまでございました。本当に今もう物すごく急に暑くなってきて、もう熱中症、もうほんまに気つけやなあかんと思うところでございます。これまた7月、今日も議題であります市民懇談会のときももっとも暑くなってるんかなと思いますので、本当に体調のほう、しっかりと皆さん整えていただいて、万全な状態で市民の皆様と懇談しっかりとできるよう、今日も闊達なご意見、ご議論よろしくをお願いいたします。

そしたら、委員外議員の出席ご案内させていただきます。増田議員。

発言される場合は必ず挙手をいただき、指名をいたしますので、マイクの発言ボタンを押してからご起立いただきます。必ずマイクを近づけてからご発言されるようお願いをいたします。

それでは、ただいまより協議案件に入ります。

協議案件（1）市民懇談会についてを議題といたします。

令和7年4月24日に開催をいたしました本委員会において、令和7年度の市民懇談会に係る内容について決定をしていただきました。市の広報誌に折り込みチラシと議会だよりの記事により、無事広報を周知することができました。議長におきましては、非常にタイトなスケジュールにもかかわらずチラシの原稿を作成いただき、誠にありがとうございました。

さて、本日の協議でございますが、市民懇談会の開催まであと1か月余りとなりましたので、業務担当者と詳細なタイムスケジュールについて決定をしていきたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

それでは最初に、業務担当のほうから協議をさせていただきます。

先日、議長と本委員会の正副委員長とで打合せをさせていただきました。全て白紙からの協議ではかなり時間もかかると思われることから、必要と思われる業務について担当を入れさせていただきました。その内容は、今ここの資料の中にあります。チラシがありまして、その2枚目も広報の周知がありまして、タイムスケジュールがありまして、その他必要な事項というのがありまして、業務担当振り分け表というのがございます。それについては、3ページと5ページに記載をしておるところでございます。前回の市民懇談会を踏まえた課題といたしまして、全議員が何らかの業務を担うということを考えまして、令和7年度当初予算を審査した際の予算特別委員長でございました藤井本委員長に議会の報告をお願いするとともに、各常任委員会の報告については、現在の委員長であります吉村委員長及び杉本委員長をお願いをしたいと思います。

まず、その3名と議長の計4名以外の方については、ファシリテーターとそのサブについていただくように考えております。業務担当振り分け表のほうでご確認を、皆様のご確認をください。グループワーク全体の進捗状況などを確認していただき、遅れているところが、

この3名、3名と議長、このとき、グループワークしているときには巡視をしていただいて、全体の進捗状況をその3名プラス議長についてはお願いをしたいなと思います。また、遅れてるところとかがあったら助言をしてもらったりとか、そういうスムーズに進行を進める役として、またそのときはお願いをしたいというところでございます。

また、受付と会場案内につきましては、申し訳ございませんが、受付が谷原委員と松林委員にお願いをしたいと思います。会場案内については、坂本委員と横井議員、お願いをしたいと思います。総合の司会進行については、私がさせていただきますして、グループワークでの全体説明とグループ発表の進行役については、柴田副委員長が受け持ちますので、よろしくをお願いいたします。

本業務分担についてこれで進めさせていただきたいと思うのですが、業務分担について何かご意見等ございますでしょうか。

藤井本委員。

藤井本委員 みんなで振り分けをするというところで、全員が全員野球というんですか、全員でやるというのはよく分かったんですけど、自分のところやっぱり見てしまうわけで、議長の挨拶が5分で、議会の報告と総務建設の委員長の報告と厚生文教の委員長の報告、これは、そこでやっていることの報告になるんですけど、私のところで古いというんか長いということで、これ当てはめていただいたんだろうと勝手に思っていますけど、ここで議会報告の例えばさっき予算の委員長してたからということがあったので、予算特別委員会のことを中心に話をするというふうに考えていいのか、その辺先に決めておいていただかないと、予算委員会での話合い、今年の予算というのはこうですよということをお話をさせてもらうのか、こういう漠然と議会報告ということになれば、いろんな議会報告ってありますので、ここはこれ、これせいということをもう少し具体的に言うておいていただいたほうが、私にとってはありがたいです。

西川委員長 議長と前の正副のほうで打合せさせていただいたときに、今こういうふうに決めさせていただいたんですけど、一旦は、これについては、議会報告でやっぱり当年度予算のことがやっぱり一番その1年間のことで葛城市のこの1年間の事業ですよ、その辺を中心にお話をしていただけたらと思うんです。というので、藤井本委員長、予算の委員長をされておりましたので、それをお願いをしたいなというところでございます。

ほか。

杉本委員。

杉本委員 今のところなんですけど、この5ページによると、議員定数削減のことについても触れるようなこと書いてあるんですけども、予算及び議員定数削減のことについてってなってる。そうなるにつじつまが合わんくなってくると思うんですよ。僕が思ってるのは、やっぱり議員の仕事上で予算の監視というのは大事やから、ここに入れていただくと、これはもう全然いいと思いますし、こんだけ資料作っていただいて、めっちゃ分かりやすくてありがたいんですけども、となると議会報告というよりも予算報告になるんかなと。議会報告とか議員定数削減というのは、議長の挨拶にちょっと組み入れるとかというふうにしていただかない

とつじつま合わんのかなと思いながら見てたんですけども、どうでしょう。

西川委員長 ありがとうございます。5ページのほうですね、議員定数。予算の話については、藤井本委員にそのままやっていただきたいなと思いますので、議員定数については、一定もうそこで説明をするというの、予算の中で予算の話の中ですするというよりも、今おっしゃっていただいたように、どこか挨拶の中で、次年度の選挙からは13人定数になりますというところを報告だけ、どっか議長のほうとか盛り込んでいただくとかで考えさせてもらうほうがええかなと今思いました。そやから、議会報告、藤井本委員の中でやっていただくのは、もうこの1年間の事業、葛城市の予算を決めた1年間の事業を基本的に話していただくというところに重点を置いていただいて、全体、議会全体のことについては、議長なり、議長ですね、もうここでいうたら、タイムスケジュールでいうたら議長の挨拶がありますので、その辺で盛り込んでいただけたらなと思いますので。だから、5ページのほうはちょっと修正をさせていただきます。それでよろしいですかね。どうですか今の。

(「いいと思います」の声あり)

西川委員長 そやから、藤井本委員に関しましては、ここは1年間の事業の予定とか、予算をこういうふうに使っていきますよと、議決しましたよというところを重点にお話しいただけたらと思います。それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

西川委員長 そのほか、ご自身の何か、今割り振りをさせていただいたんですけども、ご意見ありますでしょうか。業務分担について。

谷原委員。

谷原委員 業務分担の振り分け表のところでファシリテーターということで、ファシリテーターとしての自己研修用の参考動画も紹介されてありがとうございます。ちょっと心配なので聞くんですが、4ページのその他必要事項のところに、必要消耗品として模造紙、付箋、マジックとあるので、多分模造紙を壁に貼って、意見をいろいろ何かで書いてもらって、付箋を貼って、グループ分けして、課題を絞っていくというふうな感じでやるということが想定されているのかなというふうに思うんですが、これある程度各班で、そういう進行をするということであればそういう進行をするということ、打合せしないと、ある班は、付箋も使わずに話し合いでこうなって、ある班は模造紙貼ってこういうね。道具がそろっているんで、そういう道具を使ってやるんだったらやるで、ある程度の流れを打合せしておいたほうがいいかなとは思いますが、その点をお聞きます。

西川委員長 この後、説明のほうまたさせていただきます。それと恐らく、まだ日程は決めてないんですけども、やはり1回予行演習をしたほうがええかなと思います。この後にまたその流れ、どういうふうにしていくかというのを説明をさせていただきたい。取りあえず業務分担については、これでよろしいでしょうか。

杉本委員。

杉本委員 業務分担と関係あるかどうか、関係なかったら切ってもうたらええんですけども、去年は資料を作成して、パワーポイントで出したですやんか。僕はあした厚文の委員会でのその辺の

話をしやなあかんと思っているんですけども、その辺はもう今回はなしでいくという前提でやっていったほうがいいということですかね。

西川委員長 今のところパワーポイントは考えておりません。口頭でお話をしていただいてと思います。資料ですね。資料。紙資料は……。

（「人数限られてますんで、紙資料を配付しよう」との声あり）

西川委員長 パワーポイントの映し出すのはなしで、今考えております。

杉本委員。

杉本委員 てことは、紙資料は作らなあかん。それは事務局がやるんですか。てことは、それを今日決めてもらわんと、あしたその担当割とかも決めやなあかんと思うんで。何を厚文の発表のとき何を使うのか、総建も合わせとかなあかんと思うんですよね。紙資料というのは何かどんな紙資料なんかもあんま分かんない。それやったら、パワーポイントとあんま変わらんような気もせんこともないというか……。

（「ものはパワーポイントでいいと思います。映さんだけで。紙にするだけ」の声あり）

杉本委員 それは、ここで話し合ったらいいんですか。何か統一しといたほうがええんでしょう、多分。1つは何か図形もいっぱい、例えば写真もいっぱい入ってて、1つは字だけとかだったら、ここで合わせんのか、ここで決めんのか、よく分かんないですけども。紙資料は出すということで、どういうものを出すというのはある程度、例えば、読み原稿は、僕あるとするじゃないですか。その箇条書だけやんのか。ちゃんと分かりやすいふうなイラストとか入れてやんのかによって労力も変わってきよと思うんですよね。去年も、副委員長も多分おっしゃってたように、何か差異があったわけやから、もう今のうちこうやって決めてもうたら、もうあしたからでも厚文は動ける。誰がどうするとか。紙資料もなしやって言うんやったら、なしでいいやと思うんですけど、あるんやったらどういう形式でというのは、一旦ここである程度筋はつけておいたほうがええかなと思うんですけど。

西川委員長 その辺は、例えばフォーマットとかですよ。

吉村委員。

吉村委員 これに関連して、パワポの形式作られるのであれば、フォーマットがあって、必ずここにこういう文字が入るといのがあればいいのと、それからあと、全体の分量ですよ。資料で、やっぱりこんなないと思いますけど、総建は3枚ぐらい、3ページぐらい作っていて、厚文は張り切って20ページぐらい作ったとかなって差があるので、大体およそこれぐらいとか、そういうふうなことも含めて、ある程度、市民の方に配られるのイメージした分量とか、その辺りが事前に決めてあったほうがいいかなと思います。今の話に加えて。

西川委員長 どうですか、どれぐらいの分量がよろしいでしょうか。

杉本委員。

杉本委員 もう任せますって言うてもうたほうがええかな、逆にね。確認だけ今してるだけなんで。2人に任せてもうたら、2人である程度形作って、それを皆さんに見てもらおうという形のほうがいいかな。それが何もなしやったら、お互い、お互い作っちゃったらまずいんで、それはもうここでやってくださいでええんやけど、それ皆さん、ご了承だけ得たらええと思い

ます。

西川委員長 分かりました。これについては、そしたら藤井本委員のほうも一緒かなと思うんで、委員会はもちろん委員会でまとめてもらうんですけど、藤井本委員も予算のほうのやつを紙資料を作っていたかんとあかんと思いますんで。これについては一旦、お任せをさせていただきたいなと思います。一任を。よろしいですか。

（「はい」の声あり）

西川委員長 そしたら、それについては、3名で一旦話し合っていていただいて、お任せをさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

川村委員。

川村委員 ちょっと確認をさせていただきたい点があります。スケジュールのところにグループ発表のところに、担当が市民または議員って書いていますね。これは一応どちらでもいいというふうに言われていくのか、それとも、議会報告が議員中心でいくので、できるだけ市民の方にやっていただくようなことになると議員でもいいとか、市民さんどちらでもいいっていつてくると、そのグループにもよると思うんですけど、議員からしゃしゃり出ることはないと思うんですけどね。いろんなパターンを想定しましたら、あとは、どんな形がいいのかということのをちょっとだけ議論しておいたほうがいいんじゃないのかなと思うんですけど。

西川委員長 ほんだら、この進行、中の内容、今の川村委員の話についても、後のところで言います、全部説明させていただいて、それについてまたご意見いただけたらと思います。今の内容については、一旦受け止めさせていただきましたんで。まずは業務分担、担当のほうについては、これで、まずよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

西川委員長 そしたら、これで了承いただいたということで、各担当のほうについては、よろしく願いいたします。

先ほど杉本委員からもありましたその3名の方については、7月4日までに、当日配付する資料のデータというのを議会事務局まで提出をしていただきたいということになります。ただ県外研修の内容を含めるというときに、やから……。

（「そなん無理」の声あり）

西川委員長 でしょう。そやから、7月14日の月曜日までに最終はお願いしたいなというところでございます。本当にタイトなスケジュールになるんですけども、よろしく願いをいたします。

それでは続きまして、この中身、先ほどもありました、どういうふうなやり方で進めていくのかとかということですね。時間配分等も含め、柴田副委員長のほうから説明をよろしく願いいたします。

柴田副委員長 グループワークの時間配分を含めて、詳細なタイムスケジュールについてご協議願いたいと思います。加えて、グループワークの内容、それも説明、こちらのほうで案がありますので、それを発表させていただいて、またご意見いただきたいと思うんですけども、まず、タイムスケジュールについては、かねがねおおむね決定していただいたんですけども、それに基づいてグループワークに与えられた50分間について、タイムスケジュールを考えま

した。資料7ページのタイムスケジュールを考えてみました。

まず、最初の5分間で、参加者の自己紹介と本日のテーマ説明、それから意見1についての説明というふうに書いてあるんですけども、もうちょっと詳細に説明させていただきたいんですけども、まず、テーブルの上には前もって注意事項ありましたよね、注意事項の紙が置いてあります。そして、模造紙が各テーブルに平たく置いてあります。それと、付箋とペン、それから名前を書く名前のシールを置かせてもらっております。アンケート用紙も事前に先に置いてもいいし、もうちょっと落ち着いた時点でまた配ってもいいかなと思ってるので、その辺りは、後でまた考えていただきたいと思うんですけども、まず、始まりました。まずは、もう始まる前でもいいんですけど、名前シールに名前を書いて、胸に貼っていただきたいなと。胸に貼っていただきたいなと。その名前は、別に本名じゃなく、ニックネームでもいいかなというふうに思っております。まず、どちらでもいいんですけども、ファシリテーターとアシスタントの自己紹介の後に、参加者の自己紹介を1人ずつしていただくときに、案としては、大字とここに書いた名前を言ってもらって、アイスブレイクも考えてたんですけど、わざわざその時間を取らないで、自己紹介をしたときに一言添えてもらうようなことをやってもいいかなと思っておりまして、それは例えば、大字、名前、そして、例えば市内で一番お気に入りの場所を言ってくださいみたいなことを一言付け加えて、自己紹介それぞれしていただくと。そこはその辺りは、ファシリテーターの方にお任せしたいなというふうに思っております。

その後、本日のテーマ、住みよい葛城市にするためにということを、取りあえずファシリテーターのほうから説明いただいて、意見1と意見2に分かれておりますので、まずは意見1について説明していただく。その後で、各参加者が2分の持ち回りでご意見をいただくということなんですけど、そのときに、誰からとかというのは、その雰囲気を見ながら、言いたそうな方からとか、右回りとか、時計回りとか、反時計回りとかで決めていただいて、それで、1人の方が意見言っているときに、ここもご意見いただきたいところなんですけど、アシスタントの方がその意見を聞いているその意見の中のキーワード的なものを付箋に書いていただいて、それをもうぺたぺたと模造紙に貼っていくということをしていただくか、それがちょっと追いつかないようだったら、ファシリテーターの方も一緒になって聞きながらですけど、貼っていただくとかという方法で、何とか付箋に文字で書き出していただきたいというふうに思っています。その2分間というのは、取りあえずアシスタントの方がタイムキーパーになっていただきたいんですけども、簡単な方法としては、もうこのスマホで2分を設定してボタンを押して、何かベルが鳴るまでということを繰り返していただいたらいいかなというふうに思っています。それが終わりましたら、2分掛ける8で16分終わりましたら、ファシリテーターが、今聞いた8人の意見を大体こんな感じですよねという、こういう意見が出ましたというのを短くまとめていただいて、そして、次に移っていくと、意見2に移っていくということなんですけど、このまとめの部分が、次の発表につながってくるかなと思いますので、まとめをファシリテーターがしているのを、またアシスタントが書いていただければ、発表者の方の助けになるのかなというふうには思っているんですが、

その辺りの工夫も、グループごとでやっていただいてもいいのかなというふうに思っています。その後、また意見2のご意見を皆さんからいただく、同じように繰り返して、今回は3分間で8人、24分取っています。また、そのときにアシスタントの方がキーワードを書いて、ぺたぺたと付箋に貼っていただければなというふうに思っています。

最後に、またまとめをファシリテーターの方がして、そして終了の挨拶をしまして、その後、その後なんですけど、ちょっと15分間取っているんですけども、そこで発表者を決めていただきたいんです。それは、できれば参加者の中からお一人、指名なり、自分でやりまうと言ってくる方がいたら一番いいんですけど、なければ、ファシリテーターの方がいかがですかというふうに進めていただいて、なるべく市民の方が発表していただくようお願いしたいなと思っています。どうしても誰も出なさそうだなと思ったら、ファシリテーターまたはアシスタントの方が発表していただくということになるかなというふうに思っています。その間に出来上がった模造紙、付箋がついた模造紙をパーティション用意しておりますので、そこにもう貼り付けて、5グループを貼り付けて、そして発表に臨んでいただきたいなというふうに思っています。発表者の方とファシリテーター、アシスタントの方は、発表者のヘルプといいますか、どういうふうに発表するかというのも15分間の間で、一緒に意見のすり合わせとかもやっていただきたいなと思っているんですけども、その間は、ほかの方はちょっと休憩していただけるかなというふうに考えております。

最後に、1グループ5分で発表というふうな流れを今のところ考えているんですけども、この辺り何かご意見とか、何かアドバイスの的なことがあれば、ぜひお願いいたします。

西川委員長 杉本委員。

杉本委員 意見1なんですけど、これ、葛城市は住みよさランキングが上位になっていますが、今あなたは葛城市は住みよいと感じていますか、じゃなくて、どのようなところにつけないと、感じてますかって聞いたら、イエスカノーしかないような気がするんですよ。イエス、イエスで終わっちゃうんで、どのようなところというふうな、ひもとく言葉に変えたほうがええと思うんです。

ちょっと別の話、これ今、参加希望者って出てるんですか。これによって、というのも、これ1回やったほうがよくないですか、1回議員で。それは、次の日程のときにやるという形なんです。分かりました。その40名集まってんのかどうなんかというところ気になってるんですけど、これ半分やったら、ファシリテーターも半分になっちゃうという話ですもんね。どうなんでしょう。

西川委員長 人数なんですけど、40名、まだあと1か月あるんですけど、今そこそこ、ちょっと過剰に言い過ぎましたけど。ごめんなさい。まだ応募、かなり枠が空いておりますんで、これについては、まだあと1か月あります。もうちょっと待つてはみたいんですけど、これやはり周知、こんだけ広報もさせていただいたんですけども、やはり、まだ認知されていってないというところもありますので、これはやはり皆さんのほうからお声がけをしっかりしていただくんなあかんをお願いをせなかなかなと思っています。今はそういう状況です。まだ両手にもいってないというところですので。

杉本委員。

杉本委員 となると、この議長作ってもうたこれというのは、僕使っていいんですかね。例えばSNSで皆流しましょうとかというのは、努力としてやるべきなんじゃないのと思うんですけども。

西川委員長 これについては、もう出回っているというか、もうチラシも出ていますので、使っただいて結構です。SNSとかでしっかり発信もしていただけたらと思いますし、これを打ち出してもらって、渡してもらうように使ってもらえたら。LINEWORKSにも一度、皆さんのほうに配信をさせていただいていると思いますんで、そこから一度打ち出していただいたりとかしてもいいかな。

(「1個目の質問だけ。どのようなところがって足すのか、足さんのか」の声あり)

西川委員長 これについては、今、杉本委員おっしゃったように、今あなたは葛城市が住みよいと感じていますかの前に葛城市はどういうところが住みよいと感じておりますかと……。

吉村委員。

吉村委員 今の1についてですが、これ一番最初に質問された意図なんですけども、つくられた意図なんですけど、まず、住みよいと感じているかどうか、住みよくないと感じているという答えも想定されているように、これ見たら感じたので、もしそれを意図を生かそうとすれば、葛城市は住みよさランキングが上位となっていますが、あなたは葛城市が住みよいと感じていますかの後に、それはなぜですかとか、その理由を併せてお答えくださいとすれば、意見1の、もしそういう当初の意図であれば、それは変わらないかなというふうに思います。いや、もうそなん、悪いという答えは認めてないということであれば、杉本さんのほうがストレートでいいかなと。

西川委員長 今、吉村委員からアドバイスいただいたような形で変えさせていただきたいなと思います。それでよろしいですか。

松林委員。

松林委員 サブのファシリテーターが、いろいろ住みよさ、住みよい葛城市にするためにはこういうようなものがないんじゃない、多様な意見があると思うんですけども、そこのキーワードとなるようなところをまとめてメモするというのは、発言された方に簡単にまとめてもらうほうがええんやないかなと私は思うんです。付箋の話ですけども。それをどういうふうに並べていくんか、模造紙に貼っていくんやけども、どういうふうな基準に従って貼っていくんかということも分からへんのですけど。

(正副委員長交代)

柴田副委員長 その辺りなんですけど、多分、意見言った人を書いてもらう時間が多分ないと思うんですよ。ここのスケジュール見ていただいたら分かるように。だから、意見言っただいている間に、それこそ本当にキーワードでいいので取り出していただけたら、一番いいのかなというふうに、文章になっていなくてもいいと思うんですよ。というのは、後で発表があるので、イメージとかで捉えていただくのがいいのかなというふうには思っているんですけど、なかなかその辺りも、実際やってみないとどうなるか分からないので、1回りハー

サルやるときに、本当にそれが本当に難しければ、また違う方法を考えないといけないと思うんですけど、一度やってみてもいいのかなというふうには思っているんですが。模造紙に貼るのは、やっぱり意見1と2があるので、それがミックスになっちゃうと駄目なので、それはもう完全に分けて、線なり何か引いてやるのはやるとは思いますが、あとはもう自由に貼っていいのかな、後で並べ替えもできます、付箋なので並べ替えもできると思うので、もしグループ分けするのであれば、また貼り替えもできると思うんですが、取りあえず大まかなのは、意見1と意見2に絶対に分けておくというのは、最低のルールかなとは思いますが、どうしても。あとは、本当にやってみないと分からないところがあると思うんですけど。

坂本委員。

坂本委員 前回の議会改革の委員会で、参加される方に自分がどういうことを発表したいんかというようなことを書いてもらって、持ってきてもらうようなことはお話しされてなかったでしょうか。そう記憶しているんですけども。

柴田副委員長 持ってきてもらうのではなくて、その場で書いてもらおうかというお話は多分していたと思うんですけども、何か時間的なことを考えると、やっぱり書くとなるとすごく考えてしまう場合があるので、時間的にちょっとタイトになるのかなということになって、ファシリテーター自体は多分物すごい忙しいというか、意見も聞かないといけないから、その間にアシスタントの方がそういう意見の中から、これは重要だなと思うようなワードを取り出して、書いていただくようなことができるんじゃないかなというふうに考えているんですけども、それもやってみないと本当に分からない部分もあると思うんですけども。ちょっと練習していただくというか、もあるのかなと思っています。

岩永書記。

岩永書記 私、資料とか見てて、1つ自分が思った例ですけども、例えば、今、住みよさ、いいですかというのは、模造紙のほう線引っ張って現在、これからというのが未来って分けるとかね。そこに貼るとか。もし内容がハードなんかソフトなんかでまた縦に割るとか、そこら辺は、また一遍試しにやってみはって、どれが一番発表しやすいとか考えていただいたらいいかなと。一応事務局として、できるだけ皆さん、早いこといけるようにということで、今回マジック多めに買おうかなと。どうせまた何回もまた、今後やっていくことやから、1人に1本いけるように買っておいたら、自分で書けない人は書いてもらったらいいいし、自分で書ける人はもう手元に用意してますんで、そういう方法もあるかなと思って、その他必要事項のところの物品のところマジック、たくさん88本と書いてあるんですけど、その辺も考えて多めにに入れてますんで、お願いします。

柴田副委員長 松林委員。

松林委員 大体ここにグループワークに参加される人というのは、葛城市のどういう住みよいまちにということで、ある程度考え方を持ってきてはると思うんですよ。多様な意見やけども。だから、そういう方はある程度自分の考えというのはある程度まとまってる、こういうこと、そこに行っているいろんな啓発を受けて、考え方変わる場合もあるけども、ある程度、自分の意見ちゅうのも持ってきてはるかなと思うんですけどもね。だから、事前にある程度、自分の書く

ようなことは、ある程度持つてはるんじゃないかなと私は思うんですけども、やってみんと分からんけど、これは。

柴田副委員長 ありがとうございます。先ほど岩永さんがおっしゃったのが私いいかなと思って、参加者も持っているということですよ。なので、もう臨機応変に本人が書いていただくのもいいし、意見を言ってらっしゃる間に、アシスタントがこの言葉大事やなって思ったらそれを書いてもいいしというような、もうすごく臨機応変にやったらいいのかなって今提案していただいたんで、それでいいのかなというふうに思いますが。

(正副委員長交代)

西川委員長 川村委員。

川村委員 私も問いかけは広さのある問いかけ、さっき坂本さん言われたみたいに持つてきはって、今日はこれを言うたろうと思って持つてきはるわけですよ。それはいいと思うんです。それが、要するにその方の意見というのは未来のことなのか、それとも現状の住みよくないと思っているところなのかということに持つてきはった意見はもう貼ったらいいと思うんです。だから、そこからその方は、この問いではないことを予想して来はっても、必ずこの現状の住みよいというところの広い満足度があるかどうかということには当てはまるので、それも生かしたらいいと思うんです。それをもう先に書くねんとおっしゃったら、書くようにされて貼り付けていく。また、改めてこう聞かれたら、まだあるわっていつて。だから複数書かれてもいいのかなというふうに思います。私は、多様な意見が出るほうが、グループワークとしては充実していると思うので、それはとてもいいから、この問いかけでいいと思います。この問いかけで、さっき言われたみたいに、将来こうならなあかん、今のこれはあかんからこうならなあかんという、そういうところまで言うてくださる方は、おのずと現在と未来というのがあるし、ハードのことを言われたらハードのところになるし、ソフトのところになる、それはもうとても当てはめやすいことになるのでね。それはいいと思う。私はさっき意見言わせていただいたのは、できたら、市民さんがやっぱり中心になってほしい。今日はこれ言うたろぞと思って来はるんですよ。私はそれを大事にしなあかんと思うんです。報告はやっぱり議会としてしないといけないから、出番というのをやっぱり作ってもらえないといけないから、持つてきはった意見を公に言うてくださいというてお願いするというのをできるだけしてもらったらいいんじゃないかなと思うので、議員はちょっとその心得を持って、もうそんなとてもできないというグループは、そしたら話し合いによって議員がするというのはいいかなと思うんですけど、できるだけ私は市民さんの出番というのをこの場面については取ってやったらいいのではないかなと思いますので、私はもう、この問いかけの中で対応、いろんな臨機応変にそれは貼っていったらいいんじゃないかなと思いますので、この流れでいつていただいたらよいと思っています。

西川委員長 岩永書記。

岩永書記 事務局からですけど、同じようにその他必要事項のところに、テープのりとか用意するようにしています。テープのり持つてたら、持つてきはったメモとかでも貼れると思うんですね。だから、一応そのために用意はさせていただこうかなと。あと、参加される方には、何

らかの連絡できる形のアドレスなりもらっていますんで、事前に考えて、メモ用紙とか持ってくるのもありますよというのを告知しておいてもええかなと思いますんで、もしあれやったら、そういうふうにさせていただきたいと思います。

西川委員長 どうでしょうか。そのほかご意見、この件につきましてはありますでしょうか。

(「なし」の声あり)

西川委員長 ほんじゃ進め方については、日程はまた合わせさせていただきたいんですけど、一度、リハーサルみたいなことをさせてはいただきたいなと思うんですけど、その日程がどういうところで取れるかというところを、また考えさせてはいただきたいんですけど。その辺含めてどうでしょうか。皆さんリハーサルは必要やと思いますでしょうか。ここに一応ファシリテーターの方には、一応このQRコードでファシリテーターとはこんな感じですよという動画を事務局のほうでも探していただいて、参考にさせていただけたらなというやつはあるんですけど、やっぱり予行演習は必要かなと思いますので、日程かなり視察研修等もありますし、ほぼほぼ直前ぐらいになってくるのかなと思ってんですけど、どこかで予行演習、また日程調整をさせていただきたいなと思いますので、その際にご協力よろしく願いいたします。

それでは、アンケート、次に、出席していただいた方へは市民さんにアンケートを取らせていただきたいと思いますと思っております、今回も。10ページと11ページに案がございますので、内容のほう一度ご確認のほうよろしく願いをいたします。これについては、2ページあるんですけど、両面での印刷を考えさせていただいております。このアンケート、見ていただいて、これで配らせていただこうと思うんですけど、これについてまたご意見のほうよろしく願いいたします。

坂本委員。

坂本委員 このアンケートを見て、お住まいのところに市内と市外と2つありまして、市民懇談会ということなので、市外から来られても参加できるということになるんでしょうか。確認しておきたい。

西川委員長 想定しましたところ、もちろん市民さんに対しての、もちろん懇談会はさせていただくんですけども、前回も一応、市外からも来られておったのもありました。もしかしたら、一緒にグループで来られるときに市外の方がいらっしゃるかもしれないので、その辺については、一応アンケートのほうを取らせて、一応市民さんのほう向けなんですけど、もしかしたらグループで来られたときに、市外の方もいらっしゃるかと想定をしてのことでございます。

坂本委員 ということは、この懇談会に参加されるのも、市外の方も参加してもらおうということになるわけですか。

西川委員長 参加を促しているわけではございませんが……。

坂本委員 一緒に来られたときに。

西川委員長 そうですね。基本は市民の方を対象としておりますが、グループによってももしかしたら、一緒に行こうよといったときに、グループによってももしかしたらそういう方がいらっしゃるのではないかとということを想定しただけでございます、当日……。

(「在勤者」の声あり)

西川委員長 在勤者、そうですね。在勤者も……。

坂本委員 そういう方を含むということで。

西川委員長 それは大丈夫、それは……。

坂本委員 まるっきり関係のない方は……。

西川委員長 そうです。市内に在住、在勤なんで、その方もいらっしゃるのです。

坂本委員 そういう方を含むために、この市外というのが入っているということで。

西川委員長 そうですね。

坂本委員 理解しました。

西川委員長 どうでしょうか。このアンケートで、何かここをこうしたら、変えたほうがいいじゃないかとありましたら、ご意見いただけますか。よろしいでしょうか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

西川委員長 そしたら、これでアンケートのほうは作成させていただきたいと思います。

それでは、今年度のこの市民懇談会について、おおむね内容については、今皆さんにお伝えをさせていただきまして、あと、市民懇談会の関係資料の4ページに、先ほどいろいろと付箋であるとか模造紙であるとか、いろいろ備品のほうは出てきてたと思うんですけど、それを今回、備品リストみたいな形で、消耗品、掲載しておりますので、ご確認をしていただきたいなと思います。これ、こういうのが要るんじゃないのか、先ほど内容を頭に浮かべていただいて、あとこういうのが必要じゃないかなということもご意見としていただけたらなというふうに思いますので。これについて1回、今すぐに多分こんな必要やなというとかあれなんで、不足するとか、これ修正するとかいうものがあれば、僕ら正副に言っていたくか、事務局にこれ必要じゃないのと言っていたきたいなと思います。ここで、今考えてもらったら時間、すごいかかるかなと思いますんで。これについては確認していただいて、その都度、正副委員長のほうか、また事務局のほうにお伝えをしていただけたらなと思います。

杉本委員。

杉本委員 ちょっと戻って申し訳ないんですけども、これ集合時間は何時なんですかね、議員の。これその辺も書いていただいて、去年、用意も全員でもう同時にやりましょうよ。先行してやっていたいてたと思うんですよ。じゃなくて、今年はもう全員、1時やったら1時に集まって全員で用意しましょう。というのが1つと、もう一つは、受付、お二人でいけますか。去年も同じこと言ったんですけど、おじ様、おじ様というお二人なんで、ここで女性の方1人入れたほうがいいんじゃないのって去年もあったんですけどね。ありましたよね。今年もそれ生かしてのほうが多分受付としてはいいんじゃないかなって、今、去年のことを思い出しながら見とったんですけど。そこだけもう一回考えていただいて、集合時間だけで決めていただいて。

西川委員長 そうですね。集合時間のほうまた、1時半から受付ですので、準備等やはり一緒をお願いをしたいなというところもありますので、またこれについて追って決めさせていただいて、

集合時間のほう、全員その時間に来ていただけるようにさせていただきたいと思います。

それと受付、業務担当のほうなんですけど、受付、今、杉本委員からもお話出たんですけど、人数、これで足りんのかというところと、言いにくいんですけど、女性の方もおられたほうがいいんじゃないかというところですね。これについて……。

(発言する者あり)

西川委員長 これについて、そしたらそういう意見もあったので、もう一回受付のほうを、今、谷原さんと松林さんのほうなんですけど、また女性の方も1名行っていたかというところも調整をさせていただいて、また変更するなら変更するという形でさせていただきたいと思います。

谷原委員。

谷原委員 受付って、受付に席番号渡すだけですかね。受付は受付でやる仕事としては、例えば受付名簿に書くということはない。例えば名前は貼ってもらうということで、参加者はみんな事前に把握しているわけやから、40人なんで、番号渡すだけやったら、もう別に資料もテーブルにあるとすればあれだし、あんまり2人で十分かなという気がする。今度40名やから、前はすごく多かったんで、また、そこへたまられるし、あれだけど、2人で十分かなと。それは女性と男性とペアでも受付してもいいんですが、どういう仕事かというのがイメージと、これちゃんと席の番号を渡して案内していくというふうなことだけであればあれですけど。資料はもうお渡しするか。そこら辺やね。

(「お茶も」の声あり)

谷原委員 置いているんですね。今さっき置いてるって聞いたから、だから、結局番号を渡すだけになるんかなと。参加者はもう事前に把握しているわけやからね。だったら2人でもいけるんかなと思ったり。ちょっとその確認だけ。

西川委員長 柴田副委員長。

柴田副委員長 名簿の確認、お名前の確認だけだと思うんです。お茶もお配りするんですけど、もうやっぱりテーブルに全て置いておいてということになると、本当にそれだけ、お仕事としては……。

(「名前の確認だけ」の声あり)

柴田副委員長 確認、なります。とテーブル番号を渡す。

西川委員長 坂本委員。

坂本委員 今、谷原委員がおっしゃった受付でのことなんですけど、例えば3人グループで来られました。3人グループで来られて、会場案内するんですけども、そのグループは、できたら別々の席に振り分けて入ってもらうというようにしたほうが、するようになるんでしょうか。

西川委員長 柴田副委員長。

柴田副委員長 受付のときにテーブル番号をそれぞれお渡しするので、多分案内、坂本さん、案内なので、そのテーブル番号を見せてもらって、そのテーブルはこちらですというような形になると思います。

西川委員長 よろしいですか。

吉村委員。

吉村委員 むちゃくちゃ思いつきなので、とんちんかんやったら言ってもらえたらと思うんですけど、案内するときに、その方の席が決まっていると分かっていると。ほんなら、ファシリテーターとかサブの方はもう分かっているということで、アイスブレイクじゃないですけど、肩のあれを落としてもらう意味で、何らかの形でそのときにもう顔合わせというか、そのときに受付のところにいらっしやって、場所も案内しながら、私担当させてもらいますねんみたいなことができれば、どういう流れになるかあれなんですけど、いいんちゃうかなと、ちょっと思いつきなんですけど、それももしできたら検討していただけたらありがたいかなと思います。

西川委員長 分かりました。そうですね。その辺はファシリテーターがやりやすいように、次に運びやすいようにしていただけたらええかなと思うんですけど。要は受付からファシリテーターの方が。

川村委員。

川村委員 受付のところでやらないで、受付はして、下りてこられて、例えばAというテーブルはこちらですよと言うて、手を挙げるとか、そこでしてしまうとごった返すのかなって思います。受付でみんながそこ行って、わーってなるから、受付は受付していただいて、テーブル番号が分かったら、段ありますよね、そこへ案内の方が、例えば体不自由な方とかおられたら、配慮して、あそこ階段ありますから、下りてもらって、そこからはテーブルのところに行くのに誘導していくというのも、私らと会場案内の人のチームプレーが発生するから、そんな感じでイメージでいいんじゃないですか。

西川委員長 吉村委員。

吉村委員 私も今、川村委員がおっしゃった、このやり方のほうがスマートだなというふうに思います。

西川委員長 それでは、よろしいですか、ほか。

松林委員。

松林委員 1人2分ですか、2分で時間計りながらメモしてというのは、なかなかずっと時間、時間こっちでサブは計算しながら、そういう時間配分ってなかなか難しいんちゃうかなと思うんですけど。

西川委員長 柴田副委員長。

柴田副委員長 タイムキーパーは、もうスマホを使っただけで一番いいかなと思う。もうボタンを押すだけで、2分にセットしておいてもらって、ボタン押したらもう勝手に2分たったら音鳴るじゃないですか、じゃ、終わりですって言って、次に行くという形だったら、もう全然、時間は気にしないでいいとは思うんですけど。

西川委員長 松林委員。

松林委員 なかなか、そやけど発言されてて、そこで2分で時間がもうすぐ終わりですと、なかなか切りにくい部分もあると思うんですけどもね。

(「それはファシリテーターに任せて」の声あり)

柴田副委員長 そこは本当にアシスタントというよりも、ファシリテーターのお仕事やと思うんで。
そこはアシスタントの方はあんまり気になさなくてもいいかなと思います。

西川委員長 確かに難しいとは思いますが、松林委員のおっしゃっていることも分かりますし、その辺についてはファシリテーターの動画もありますので、その辺で皆さん、1回確認をしていただいて、あまりばしっと切るのもさすがに無理やと思いますね。そこら辺は、技術というかテクニックが要るのかなと思いますけど。それをでも気にしていってたら、前向いてなかなか進みませんので、多分どの、ファシリテーターというか、委員長とかもみんなそうやと思います。ばしっと切るとなかなか難しいやろし、そやから、その辺はやっぱ技量とか、その辺はファシリテーターでしっかりとやっていただいたらなと思いますので。

川村委員。

川村委員 議員は名札はつけるんですか。つけるんですね。そうですね。

(「シール貼る」の声あり)

西川委員長 同じようにシールで貼ってもらってもいいと、ほんで、そこで議員もニックネームでもいいかもしれませんし、いや、例えばね、それは。

川村委員 それは大事なことやと思うんです。ただ、それをしたかったら、また下手に名刺配ったりするような議員はいかんよということを、私ちょっとあえて辛口の部分も言わないといけないので、議員はみんなここのシールを貼って、議員ということは確実に示すということは、ぜひしておいてほしい。でも、個人名刺は絶対配らない。これは、今までも想定できることです。そこは全員に言うときにお願いしたい。優しいこと言うたり、辛口のこと言うたり、すいませんが、よろしくお願いします。

西川委員長 その辺はしっかり徹底させていただいて、ちゃんと言うように、最初の説明のときでもちゃんと説明するときに言うようにさせてもらいます。

そのほか、よろしいですか。

藤井本委員。

藤井本委員 前回のときもあったんですけど、うちがこういう市民懇談会がほかに比べて先行していると思わないんですけども、まだやっていないところもあって、去年も2市か、2つの町か3人ぐらい議員さんが来られてました。そういう話あったときに、今回やったらもう、どのように答えておいたらいいのか、我々も、自分らのするのにどっか見に行ったりとか、それはもう全員で行ったり、議会の視察ということで行きまして、私も、実はよそのこういうの行ったことあるんですよ。聞かせてねと。気安く受け入れてもらった、行ったところは全部受け入れてもらいましたけど、そういうお話があったときに、どのようにお答えをしておいていいのか、もう統一しておいてもらったほうがいいと思うんです。

西川委員長 これについては、もちろん参加していただくことはできないと思うんです。だから、これについては、そういうお話があったときに、正副、そして議長また相談させていただきますので、むげに断るということもなかなか難しいのかなと思います。そうやって参考にしたということがいらっしゃったら、次の自分らのところのまちに参考にしたいといらっしゃいましたら、むげに断ることもなかなか難しいのかなと思いますし、その時、都度……。

(発言する者あり)

西川委員長 そういう扱いになると思いますけれども、グループワークで、今回はやっぱりグループワークで、市民さん、在勤、在住、もしかしたら市外の方、グループの中にはいるかもしれませんが、基本的にはそのグループワークの中で、市民の方ですので、中には、中というのは輪の中、グループの中にはもちろん入ってもらえないと思いますけれども、視察みたいなイメージ、傍聴ですよということについては。

(「決めといていただいたほうが、話あったときに、聞いてみるわということと違うてですね」の声あり)

西川委員長 そしたら、そういう話があったときに報告いただいて、基本的には傍聴のみですけどね。傍聴のみしていただけるということで決めさせていただきたいと思いますので、話があったときには必ず通していただいて、報告をこういう方が来られるということで、こちら把握させていただきたいと思いますので。基本的には傍聴ということでお願いします。

ほか、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

西川委員長 いろいろと今決めさせていただいて、修正するところもあるんですけども、どうしても日が近づくにつれて、こういうことが足らんかったよとか、こういうことがまだ出てきましたというのがあると思うんです。もうちょっと煮詰めていったらね。そのときにはLINEWORKSとかで皆さんにお知らせするというにさせていただきたいと思います。改めてもう一回集まっていたいてというのはなかなか難しいので、こういうことになりましたとか、こういうことにしますとかいうのは、LINEWORKS等でお知らせをさせていただきたいなと思います。

リハーサルについては、一度やらせてはいただきたいなと思いますので、これ全員なんで、なかなか日が、恐らく合いにくいのかなと思うんですけども、なるべく大勢の方が参加していただける日を調整できたらなと思うんですけど。必ずファシリテーターの方がおられるとき、全員がそろうときにはさせていただきたいなと思いますけど、その辺またご協力のほうよろしくお願いします。

先ほど杉本委員からありましたように、何人来ていますかと、今申込みがあるんですけど、今何名とは言いませんけれども、まだまだ余裕がある段階ですので、本当に今委員の皆さんには声がけをしていただいて、チラシも打ち出していただいて、ちょっとお願いするわねということ、祝日の日なんで、なかなか予定のある方ももちろんいらっしゃると思うんですけど、できるだけご協力いただけるように、参加していただけるように促していただけたらなと思います。

それでは、この市民懇談会については以上とさせていただきます。

続いて、協議案件(2)議会関係資料の配布についてを議題といたします。

この件に関しましては、前回4月24日に開催をいたしました本委員会においてご協議いただきました議会議員が委員となる各種委員会などについて、理事者側の意向を確認すべきではないのかという意見がございました。なぜ議会議員を委員に委嘱するのか、議会議員が委

員から外れても問題はないのかなどを確認するために、各担当部署に照会をいたしました。議会改革関係資料の1ページから37ページがその回答でございます。本日はこの内容には触れないんですけども、次回のこの委員会までに確認をお願いいたします。

また、議会改革関係資料の38ページから40ページなんですけども、令和6年12月末現在において、全国の市議会の定数、報酬について資料が届きましたので、以前に作成しました基礎調査報告書と同様に、人口3万5,000人から4万人までの類似団体について集計した表を作成しましたので、参考までに添付しております。提出については、視察研修させていただいた三浦市が13名で最も少なく、葛城市の改選は同じく13名となりますので、三浦市と同様に最も少ない定数となります。報酬については、三浦市が一番高額となっており、葛城市は34市中9番目となっております。本日ご提示させていただいた資料は以上でございます。これについては、情報提供というところでございます。

委員会、各種委員会のほうは、今これ、見るのもなかなか本日お配りしたばかりなんで、見ることで、今こうやってご意見いただくことというのもなかなかないかなと思いますので、一度確認をしていただいて、また、次の委員会に取り上げさせていただきたいなと思いますので、本日は、資料の提供をさせていただくというところでとどめさせていただきたいと思います。

本日の協議案件については以上でございます。ここで委員外議員から発言の申出があれば許可をいたします。

増田議員。

(増田議員の発言あり)

西川委員長 委員外議員の発言を終結いたします。

皆様、本日は闊達なご議論ありがとうございました。残すところ本当にあと1か月とちょっとですので、その間に本当にまだ委員会の視察研修等も含んできます。報告、各委員長にはまた報告のほうをつくっていただかんなんと思うんで、本当にご苦労をおかけするんですけども、よろしく願いをいたします。どっちにしてもこれ、また初めての手探りでの中のことになりますので、本当に皆さん一致団結して、日頃けんかはしているかもしれませんが、この市民懇談会に関しましては……。

(「けんかはしてない」の声あり)

西川委員長 けんかはしてないですね。ごめんなさい、いろいろと議論が分かれることがいろいろとあるかもしれませんが、ここは一致団結して、この市民懇談会、しっかりと成功させたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。ちょっと失言でございました。けんかはしておりません。議論の対立はあるかもしれませんが、ここは市民懇談会、しっかりと成功に向けてご協力していただけるよう、よろしくお願いいたします。

これをもって議会改革特別委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会 午後4時14分

委員会条例第28条の規定によりここに署名する。

議会改革特別委員会委員長 西川 善浩

議会改革特別委員会副委員長 柴田 三乃